

研究課題名 大角度の上斜筋麻痺に対する手術効果の検討 に関する情報公開

1. 研究の対象

2018年1月～2019年9月に当院で上斜筋麻痺に対して斜視手術を受けられた方のうち、術前斜視角が大角度（15PD以上）であった方。

2. 研究目的・方法・研究期間

上斜筋麻痺による上下斜視は下斜筋減弱術の他、上斜筋強化術や上下直筋後転術等が選択されます。大角度の上斜筋麻痺については下斜筋のみの手術では矯正が不十分な場合も多く様々な術式が検討されていますが、術式は未だ定まっていません。

また、交代性上斜位の治療に関しても多くの研究があり、片眼または両眼の上直筋後転術や下斜筋切除術、下斜筋の前方移動術等が提案されていますが、上斜筋麻痺に交代性上斜位が合併した症例に対する術式の検討はこれまであまりなされていません。そこで、本研究は大角度の上下偏位を有する上斜筋麻痺の手術において、交代性上斜位を含めた、手術効果に影響を与える因子について検討します。

研究方法は診療録を用いた後ろ向き研究で、検定には Mann-Whitney の U 検定を用いて行います。

研究期間は研究実施承認日から 2021 年 7 月 31 日までを予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、術式、術前後の斜視角、交代性上斜位合併の有無、術中上斜筋牽引試験の結果 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

担当者：名古屋大学大学院医学系研究科眼科学教室 大学院生 安田小百合

連絡先：名古屋市昭和区鶴舞町 65

052-744-2275

研究責任者

名古屋大学大学院医学系研究科眼科学教室 講師 兼子裕規